

2018 岩国行動 スタート集会

極東最大の米軍航空基地に変貌する岩国基地の今



田村順玄^{さん}を迎えて

(岩国市議会議員)

7月13日(金) 18:30~

エル大阪 南館101号室

資料代カンパ：500円

3月31日、中国四国防衛局は厚木基地（神奈川県）の空母艦載機約60機の岩国への移転が「3月30日に完了したと米軍から連絡があった」と岩国市に伝えた。そもそも移転完了時期は国の説明では2018年5月という事だった。しかし何の説明もなく前倒しされて「3月30日完了」が事後報告されたのだ。その理由も「米軍が運用状況を総合的に判断した」（防衛局）としか説明されていない。移駐開始の時期についても、在日米海軍司令部は「第1陣の早期警戒機E2D部隊が2017年2月に到着」と公表しているが、岩国市長や山口県が艦載機移駐容認を決定したのは、2017年7月11日である。防衛省は2月の飛来を「配備前訓練」と言いくるめ、2017年8月9日を「移転開始」としている。森友問題の公文書改竄と同様に、現実とは異なるつじつま合わせの説明が行われている。“米軍の事情”が最優先で、住民は置き去りにされている。

岩国基地の監視を続ける「追跡在日米軍リムピース」は、空母艦載機が移転する前の去年1月に217回だった離陸が、今年1月は全体で571回と倍以上に増えている。艦載機だけでも295回と去年1月を上回り、市に寄せられた騒音の苦情件数も増えている、と公表している。また米軍の訓練空域「エリア567」にあたる、広島県や島根県でも爆音の被害が増加している。

米軍機や自衛隊機の事故・落下物が多発している中

で、住民の不安は計り知れない。事故の度に“徹底調査”や“再発防止”を求める住民の声が高まるが、日米地位協定が障害物となって実現されていない。低空飛行訓練についても休日、夜間の制限も規定されていない。

移転に伴う米軍・軍属・家族などの関係者は、今年中に1万人を超え、岩国市の人口の1割に迫ると言われている。騒音や事故にとどまらず、市民の日常生活にも大きな影響がでることは容易に想像できる。しかし、国は、「米軍の運用」を盾に詳しい情報を市民に提供することもしていない。住民の安全・安心は無視されている。

安倍政権は、南北朝鮮の首脳会談、米朝会談など核戦争回避のための話し合いの機運が高まる中でも“制裁と圧力”を主張し、東アジアの軍事緊張を煽り立てて税金ムダ遣いの軍備増強と自衛隊の強化に躍起になっている。安倍政権の戦争への道に鋭い批判を突き付け、平和を創る闘いを強めていこう。

岩国住民による“1の日愛宕山みまもりの集い”は2010年8月21日以来途切れなく闘い続けられている。岩国基地の監視活動も全国・世界に岩国基地の現状を発信し続けている。マスコミが取り上げなくても、粘り強い闘いが現場で続いている。沖縄・岩国・京都・神奈川の反基地運動の連帯を強化し、アジアの反米軍基地運動と結合してアジアから米軍総撤収を実現しよう。全国から反基地の現場にかけつけよう。

主催：岩国・労働者反戦交流集会実行委

協賛：アジア共同行動日本連絡会議（AWC）

アジアから米軍基地を撤去しよう！労働組合は反戦・反基地・国際連帯を掲げよう！

今年もやります！岩国行動 呼びかけ・賛同にご協力ください！（裏面に申込書）

Tel. 0774-43-8721、Fax. 0774-44-3102、メール. iwakunihansen@yahoo.co.jp